

競技関連事項について

一般社団法人京都府ボウリング連盟

1 平成30年度競技日程について

- ・チームリーグは中止する。
- ・春季レディスオープンを新設し、サンケイボウルで実施する。
- ・支部競技大会をオープン競技とし、一般の方も参加できるようにする。
「会員同士（クラブ単位）」、「一般同士」、「会員と一般」のいずれの組み合わせでも参加可とする。
- ・冬季シニアオープンを廃止し、支部対抗オープン競技大会を実施する。
参加資格は、各支部オープン競技大会に参加した選手で、一般の方も参加可とする。
ポイント制にして支部表彰する。（詳細は今後検討）
- ・本部・実業団月例会を20時スタートとする。
- ・関西選手権・西日本選手権の予選会は、本部・実業団月例会に兼ねて実施する。

2 競技内容等の見直しについて

(1) 京都府社会人実業団選手権大会の個人決勝戦をやめ、上位チームによる決勝戦を行う。

予選9G+決勝3Gの12Gトータルで順位を決定する。（6位まで表彰）
決勝出場チーム数は12チーム（参加チーム数の3分の1）程度
個人は、予選9Gを対象に男女別3位まで表彰

(2) 京都府選抜選手権大会の準決勝進出者を減らし、ボックス3名打ちとする。

女子は、準決勝12名>>>決勝8名
男子は、準決勝(使用ボックス数×3)名>>決勝(使用ボックス数×2)名
この変更は、今年度の大会から適用する。

(3) 京都府選手権大会のシフト順を次のように変更する。

1日目・・・3人A、6人B前半、6人A前半、2人B、2人A
2日目・・・3人B、6人A後半、6人B後半、中間表彰、マスターズ

3 京都府新人競技大会参加資格について

- ・京都府選手権大会、京都府選抜選手権大会の選手権者等にも参加資格を与える。

4 上部団体主催大会チーム予選のブラインドが出た場合の対応一部変更について

- ・関西選手権、西日本選手権、全日本シニア等で参加チームが確定した後は、チーム単位で予選に参加し落選したチームを解体し、個人で予選参加し落選した選手も含め、得点上位順に並べ、ブラインドが出た場合の補充対象選手とする。
(現状は、個人で予選参加した選手を優先して補充対象としている。)